

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野科

目コード:230011

子どもと家族のケアシステム論 Health Systems for Child and Family

担当教員	戸部 浩美、千原裕香、キタ幸子(非)				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	○	(3)	◎
Keywords	子ども家庭政策、制度分析、国際比較、エビデンス活用、実装科学、政策提言				
学習目的・目標	<p>学習目的: 子どもと家族を支える保健・医療・福祉に関する制度とその背景にある現状を理解し、諸外国の制度や日本における先進的な取り組みの現状をふまえ、今後の施策を提言できる能力を養う</p> <p>学習目標: 1) 日本における子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度、ケアシステムの現状および課題を理解する。 2) 諸外国の子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度・ケアシステムを学び、日本の制度・システムの課題を解決する方法を考える。 3) 医療機関と学校・保育園および保育園・幼稚園と小学校の連携が必要となる諸課題を理解し、先進的な取り組み等から連携の方法や専門看護師としてできることを考える。</p>				
授業計画・内容					
回	授業内容	授業方法	担当		
1~7	<p>日本における子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度、ケアシステムの現状および課題</p> <p>1) 子どもの虐待予防対策:周産期の母親の暴力体験と子ども虐待予防(1) 2) 子どもの虐待予防対策:周産期の母親の暴力体験と子ども虐待予防(2) 3) 子どもの虐待予防対策:家族の多重暴力(Family Poly-victimization) 4) 子どもの虐待予防対策:子どものトラウマと自殺予防 5) 子どもの虐待予防対策:地域の子どもの虐待予防プログラム 6) 子どもの虐待予防対策:トラウマリカバリー 1) 7) 子どもの虐待予防対策:トラウマリカバリー・インフォームド・プラクティス</p>	プレゼンテーション/討論/講義	キタ		
8~10	国内外の子どもと家族に関する保健・医療・福祉に関する制度、ケアシステム	プレゼンテーション/討論/講義	戸部、千原		
11~12	次世代育成・親準備教育 思春期教育:石川県における高校生対象の次世代育成プログラム これまでの取り組みと展望	プレゼンテーション/討論/講義	千原		
13~14	様々な課題を抱えた家族への支援システム 研究の発展と実装	プレゼンテーション/討論/講義	戸部、千原		
15	学びを自身の研究・実践に生かす(プレゼンテーション)	プレゼンテーション/討論/講義	戸部、千原		
教科書					
参考図書等	随時提示				
評価方法・基準	<p>1 授業への参加状況 40%</p> <p>2 プレゼンテーション 40%</p> <p>3 事前学習 20%</p>				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ					